

申請用紙（記入要領）

（整理番号： ）

|   |  |        |  |        |                         |
|---|--|--------|--|--------|-------------------------|
| 活動の名称   | ESDom(エスドム)  |        |  | 記入年月日  | 平成23年9月14日              |
| 部門  | 環境教育・普及啓発部門  |        |  | 自薦他薦の別 | (○をつけて下さい)<br>自薦 ・ (他薦) |
| 推薦者名  | 秋田県地球温暖化防止活動推進センター<br>(特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム)<br>県南デスク 栗林 弘昌  | 推薦者連絡先 | TEL: 080-4156-8309 FAX: なし<br>e-mail: accca.s.branch@eco-akita.org<br>担当者名: 栗林 弘昌      |        |                         |
| 推薦者の推薦理由（他薦の場合に推薦の理由を記入して下さい）   |  |        |  |        |                         |
| 別紙の「環境ESDカレンダー」を見れば一目瞭然ですが、大曲南中学校は、年間を通して総合学習だけではなく教科学習においても環境に特化した学びの連続性が保持できるように、教育課程全般において環境教育に無理なく取り組む体制をとっており、それが同校の特筆すべき特徴であると言えます。また、一昨年からは小・中連携にも取り組んでおり、学区内小学生の同校進学による義務教育9年間を見通した環境教育は、今後、キャリア教育の観点から低炭素型のものづくり産業を担う人材の育成につながる取り組みになると期待できます。 |  |        |  |        |                         |
| 活動主体の概要   |  |        |  |        |                         |
| 名称（代表者）   | 秋田県大仙市立大曲南中学校（校長 黒田清志）   |        |  |        |                         |
| 住所【必須】  | 〒014-1412<br>秋田県大仙市藤木字上野中70-2  |        |  |        |                         |
| TEL【必須】   | 0187-65-2001   | FAX    | 0187-65-2051   |        |                         |
| ホームページ  | <a href="http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~om-minamityu/">http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~om-minamityu/</a>  |        |  |        |                         |
| 設立年月日   | 平成20年4月から活動開始  |        |  |        |                         |
| 組織  | 中学校の運営・指導組織  |        |  |        |                         |
| 応募活動の要旨   | 大曲南中学校では、「Curriculum（教育課程）」「Consensus（合意、意識）」「Communication（伝達・発信）」「Continuation（継続）」「Cooperation（連携）」の5つをキーワードに、「エネルギー」「国際理解」「食育」の視点から環境教育に取り組んでいる。特にエネルギー教育では、エネルギー教育実践校（経済産業省）の指定を受け、地球温暖化の防止を中心に4年間継続して取り組んでいる。そして今年からは、エネルギー教育に国際理解教育と食育を加えた環境教育で、ESDへアプローチをすることに、学校全体で取り組んでいる。教育課程に環境教育をはっきりと位置付けるため「環境ESDカレンダー」（別紙資料1）を作り、総合的な学習の時間と各教科等の連携を図ることで、教育課程全般で環境教育に取り組んでいる。ここ2年は特に「Cooperation（連携）」を重視してきた。環境関係の外部団体との連携だけではなく、地域の小学校や高等学校との連携も行っている。例えば、「環境デジタル紙芝居 地球大改造！劇的ビフォーアフター」を小学校で上演したり、地域の住民にゴーヤの苗を配布し、一緒に緑のカーテンを育てながら節電に取り組んだりしてきた。このような環境学習の取組の中で、生徒の環境に対する意識と行動力が身についてきた。「未来の地球環境は自分たちがつくる」という強い意識が生まれてきた。そして本校の取組が、地域へも広まり、地域と一体となって環境教育ができるようになってきた。 |        |  |        |                         |
| 団体担当者氏名<br>連絡先  | 氏名<br>島田 智   | 連絡先    | TEL: 0187-65-2001 FAX: 0187-65-2051<br>e-mail: satoru-shimada@edu.city.daisen.akita.jp |        |                         |
| これまでの受賞歴  | 平成21年 第4回電気新聞エネルギー教育賞最優秀賞<br>平成22年 第5回電気新聞エネルギー教育賞優秀賞<br>平成22年 秋田県環境大賞   |        |  |        |                         |

活動の概要

目的

秋田県大仙市は、水と緑が豊かで、自然環境に恵まれたところである。東に奥羽山脈、西に出羽丘陵を望み、横手盆地の北に位置し、稲作を中心とした農業の盛んなところでもある。大曲南中学校は、雄物川と横手川の合流地点に近く、田園が広がる豊かな自然環境の中にある。このすばらしい自然を未来につなげることは、地域に住む人々の重大な責任であるとする。しかし、日本全体、地球全体を考えた場合、環境問題は深刻化しているという事実は否めない。特に地球温暖化は喫緊の問題として、世界的に対策が講じられている。政府が音頭をとり、企業や自治体、個人レベルでも地球温暖化問題への取り組みや、省エネを喚起する活動が頻繁に行われている。このような現状を踏まえ、将来を担う中学生に、「今の日本や世界はどうなっているのか」「これからの地球はどうなるのか」「今自分たちは何ができるのか」を考えさせ、主体的な行動を起こさせることを目的として活動に取り組んでいる。未来の環境は、現在の取り組みの結果として現れ、最もその影響を受けるのは未来の人々、すなわち現在の子どもたちである。日本では2050年までに二酸化炭素排出量を50%削減するという目標が出されている。2050年といえば、今の中学生が社会の中核として活躍している時代である。未来につながる環境教育が、特に地球温暖化防止のための教育と活動が今必要であるという認識のもと、今できる環境教育は何なのか、中学校教育の中でどのような実践力を身につければいいのか等、生徒一人一人が自分の問題としてとらえ、目的意識をもって行動できるようにすることをねらいとしている。また、学校教育の中で環境教育に積極的に取り組むことで、ESD（持続発展教育）に迫りたいと考えている。

内容

大曲南中学校が実践する、環境教育の3要素「エネルギー教育」「国際理解教育」「食育」のそれぞれの観点から、「連携」を中心とした活動内容を紹介したい。なお、この活動には全校生徒109名と、職員15名が取り組んでいる。

〈エネルギー教育〉

・ 緑のカーテンプロジェクト

一昨年はアサガオ、今年はゴーヤを育て、教室の窓を緑のカーテンで覆い、夏の暑さを和らげた。ゴーヤへの水やりは雨水を貯めたものを用い、ソーラーパネルで発電した電力を使ったポンプで汲み上げて灌水した。また肥料は、給食センターが給食の残菜から作っている有機肥料を使った。



パイプ、ペットボトルを通して雨水を散水



緑のカーテン全体（奥にソーラーパネル）



肥料は「給食起源」の有機肥料

緑のカーテンで育てたゴーヤを使った料理講習会も行った。講師は地元の大仙市食生活改善推進委員会のみなさん。「エネルギー」と「食育」を結びつけた活動である。



食生活と健康についての講話



メニューはゴーヤを使ったお好み焼き



地産地消はエネルギーの節約にもなる

・ 環境出前プレゼンテーション

小・中連携での環境教育を促進するため、昨年5月27日には中学生が小学校に出向いて、エネルギー環境ワークショップ「もてるかな！エネルギーのかばん」（全国地球温暖化防止活動推進センターのプログラム）を行った（別紙資料2）。今年度は、秋田県地球温暖化防止活動推進センターが制作したデジタル紙芝居「地球大改造！劇的ビフォーアフター」を、各小学校で中学生が上演し、その後「私たちができること」を話し合うワークショップを行った（別紙資料3）。





「もてるかな? エネルギーのかばん」(全国地球温暖化防止活動推進センターのプログラム)を小学校で実施。



「地球大改造! 劇的ビフォーアフター」(秋田県地球温暖化防止活動推進センター)作成のデジタル紙芝居の上演とワークショップ

小学生にプレゼンしたり、ワークショップを行ったりすることで、地球温暖化防止のための行動を啓発するとともに、自分たちの意識も高めることができた。

・ 自然エネルギー出前授業

燃料電池、風力発電に関する出前授業や施設見学を実施した。専門家のノウハウに触れることができた。



日本風力発電協会による出前授業



産総研による燃料電池出前授業



能代風力発電所見学

・ 小・中連携環境デー

平成21年度から「小・中連携環境デー」を開催している。小学生のプレゼンを中学生が聞いたり、中学生が指導する実験に小学生が参加したりするなどの活動で、連携の成果を確かめ合った。



小・中連携環境デーでの小学生の発表の様子

また、「秋田県に建設する発電所はこれだ!」というテーマで中学生がプレゼンし、小学生が投票して建設する発電所を決定する「バーチャル県議会」も行った。風力発電所を沿岸に2000基(600kw×2000基=120万kw)建設する案が、県議会を通過した。

↓プレゼンテーションの様子と、使ったスライド



## 〈国際理解教育〉

### ・ 秋田商業高校（ユネスコスクール）との連携

国際理解教育の先進的活動をしている秋田商業高校と連携し、「国際理解から環境を考えるワークショップ」を実施した。平成22年、大曲南中学校もユネスコスクールに加盟し、県内のユネスコスクールの先輩である秋田商業高校とともに、国際的な環境問題を考える活動を実践した。秋田商業校のアフリカへのスタディーツアーの報告を聞いた後、「もしも地球が100人の村だったら」「富の分配、水の分配、資源の配分、エネルギーの配分」などのワークショップを行った。これまで3回の相互交流を行い、大仙市国際フェスティバルには、共にユネスコスクールとして参加し、大曲南中学校は前述の「もてるかな？エネルギーのかばん」のワークショップを、一般の方々の前でも実施した。



ワークショップの中で、世界の食料やエネルギーの不等性について学んだ。

### ・ オフセットカフェ（学校祭での環境ブース）の運営

NGO RACICAが主催しているオフセットカフェ（フェアトレードのコーヒーを販売し、その収益でネパールの孤児院にソーラーランタンを送るプロジェクト）に、学校祭で取り組んだ。「国際理解から環境を考えるワークショップ」を行い、世界の人々は誰もが決して豊かな環境の中で生活しているわけではないということを感じた後だったので、コーヒー販売にも熱が入った。エネルギーとも結びつけて、実物のソーラーランタンを展示したり、このコーヒー一杯で30グラムの二酸化炭素が削減できるという説明をしながら、証明書を発行したりした。



学校祭環境ブースでは、オフセットカフェの他に、自転車発電や人力発電を体験できるコーナーを設けて、来場者にエネルギーを作ることの大変さを感じてもらった

### ・ 国際理解講演会他

青年海外協力隊に参加経験のある地元の方を講師として、「国際理解と環境」についての講演会を実施する予定である（9月21日）。また、秋田市の下浜海水浴場のクリーンアップをお手伝いし、外国語の漂着物から国際的な環境保全を考えた。

## 〈食育〉

### ・ 省エネクッキング出前授業

秋田県地球温暖化防止活動推進センターからの出前授業を、毎年2年生を対象に行っている。省エネクッキングの授業で、地元の野菜を使い、徹底して省エネを考えた調理法で、後かたづけまでエコに行くことを、調理実習の中で体験した。ちょっとした工夫が、二酸化炭素排出量の削減につながり、地球温暖化を防止できることを学び、家庭でも実践する生徒が増えた。



メニューは野菜の皮も使ったお好み焼き「エコのみ焼き」。地元でとれたなたね油も使った。省エネクッキングでは、フードマイレージについても話があった。秋田県は食料自給率100%を超えているが、地産地消の大切さを知った。



・ **食育講演会**

保護者対象の講演会を、教育家庭新聞社副編集長（大仙市出身）を講師に招いて行った。食育は家庭と連携することで効果を発揮するという考えから、PTA研修部が講師と交渉し実施に至った。



和食のすばらしさ、朝食の大切さなどの内容に、保護者は熱心に耳を傾けた。地産地消にも話題がおよび、安全・安心な食品を食べるには、つくる人の顔が見える食品を選ぶことが大切だと力説した。

・ **有機野菜栽培**

食育の一環として、野菜の有機栽培を行った。地域の農家の方に指導をお願いし、肥料は給食センターで残菜から作っているもの（緑のカーテンと同じもの）を使用して栽培した。今年の収穫はまだだが、去年は収穫した大根を、地域に住む「漬け物マイスター」の指導で漬け物にした。自分たちが栽培し、しかもエコな肥料を使った野菜は、とてもおいしい。関連事業として、有機肥料の中にいる微生物のはたらきを学習するため大曲農業高校の博士号教員を講師に招き、「小さな生物の大きな役割」という講演会も開いた。



6月 サツマイモの苗植



9月 ネギは十分収穫できる大きさ



微生物についての講演会

このように、大曲南中学校では「エネルギー」「国際理解」「食」の3つの視点から環境を見つめ、地球温暖化防止のために何ができるのかを考える活動を行ってきた。そして、地球温暖化防止のために行動できる生徒が育ってきた。

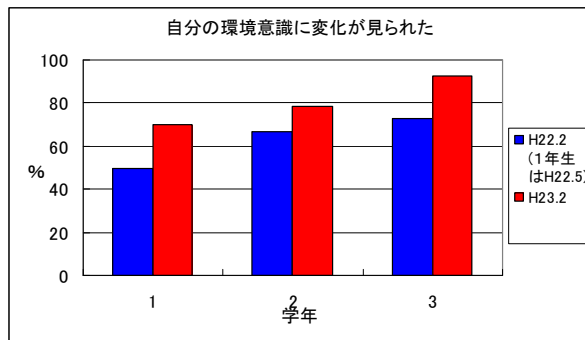
当該活動の  
実施期間

(当該活動を始めてから現在までの期間を記入して下さい)

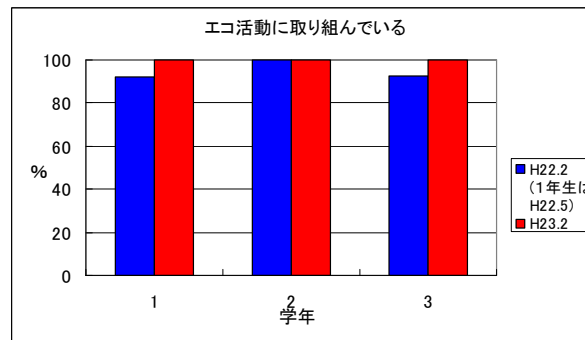
自 20年 4月 1日 ~ 至 24年 3月 31日 (通算期間; 4年の予定)

### 活動の効果・社会への波及効果

昨年度全校生徒を対象に2回のアンケート調査を行った。「自分の環境意識に変化がみられた」と答えた生徒はグラフ1のように活動期間が長い3年生ほど向上している。また、「エコ活動に取り組んでいる」割合は、グラフ2のように全学年で100%になっている。このように、この活動を通じて意識も行動も大きく変化してきたことが分かる。

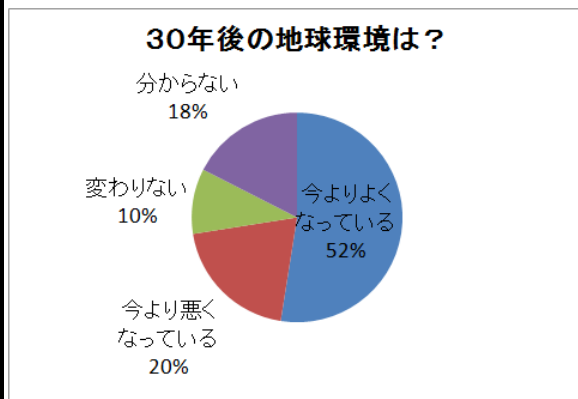


グラフ1



グラフ2

また、下のグラフ3は、中学生に「30年後の地球環境はどうなっているか」という質問を行った結果である。(財)日本生産性本部エネルギー環境教育情報センターの平成20年度の調査によると、上の質問に対して「よくなっている」と答えた生徒は9.3%、「今より悪化」と答えた生徒が64.0%というデータがある。環境学習を深めるごとに、将来の地球環境を肯定的に見ていることに注目できる。自分たちが行動すれば、地球環境は守れるという気持ちの表れだと思われる。自分たちで未来を切り開き、持続可能な社会を創ることができるという自信が芽生えたのではないかと思われる。また、下のようなクリティカルシンキングも出来るようになった。情報に流されたり、批判したりするばかりではなく、代替案を提示できる思考力も身につけてきた。



グラフ3

### 中3生徒の作文

私たちはこのような環境学習を他の学校より率先し、先取りしてやっていることは大いに感じています。環境に関する国際的なプロジェクト(〇〇年でCO2を△△%カットする等)での成果や推移が、はっきり子どもたちに伝わっていないような気がします。そのような成果などを、もう少し大々的に国民に発表していれば、もし順調にエコができていいる時など、さらに省エネに励もうと国民みんな努力すると思います。

社会への波及効果としてあげられることは、学習したことを家庭で実践することで、家族の意識や行動が変わっていくこと。また、地域との連携を密に活動することで、地域全体が環境行動に取り組むようになったことがあげられる。地域の人たちは「大曲南中学校は環境教育の学校」という見方をするようになり、クリーンアップやリサイクル活動に積極的に協力してくれるようになった。

また、大曲南中学校が事務局を務めた大仙市中学生サミットでは、全市中中学生をあげてのエコ活動に取り組む提案をした。大曲南中学校から全市にエコの輪が広まった。大仙市交通安全環境課が行っている「大仙市環境家族宣言」には、ほとんどの中学生が家族とともに参加し、二酸化炭素削減の行動をしている。昨年の「大仙市環境家族宣言」では、夏休み中における1週間の実施で、1568世帯、6609人が参加し、大仙市全体で5830kgの二酸化炭素を削減できた。大曲南中学校から波及したエコの波が、市民を動かした。

### 活動の今後の計画

環境教育での地域連携を核として、地域に根ざし地域とともに取り組む活動の継続を進めていきたい。「地域の教育力」を大いに活用していきたい、そして積極的に発信することで、地域を巻き込んだ地球温暖化防止活動を展開していきたい。今までの活動を継続することはもちろんだが、地域の事業所等との連携を図り、キャリア教育からのアプローチも視野に入れている。

大曲南中学校が秋田県の環境教育、地球温暖化防止活動をリードしていけるよう、秋田県地球温暖化防止活動推進センターと強い連携を保持しながら今後の活動を推進したい。

### 本表彰の公募をお知りになった媒体

ホームページ  推薦依頼文書等  新聞・雑誌等  その他( )

### 参考資料の添付 (○をつけて下さい)

なし ・  あり (別紙資料1: 環境ESDカレンダー、  
別紙資料2: 秋田県地球温暖化防止活動推進センターホームページ記事「2010/5/27」、  
別紙資料3: 秋田県地球温暖化防止活動推進センターホームページ記事「2011/6/1」)

### 備考